

令和6年

火災・救急・救助
などの活動概況



©稲沢市いなッピー
火の用心1

稲沢市消防本部

※利用上の注意

構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ず100とはならない場合があります。

目 次

稲沢市管内概要	1
119番受信概況	2
緊急出動概況	3
訓練指導及び調査概況	5
予防概況	7

火災

火災概況	10
年別出火件数・年別損害額	11
署別出火件数・月別出火件数	12
曜日別出火件数・時間別出火件数	13
火災による死傷者数	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移	15

救急

救急概況	16
種別ごとの救急出場件数	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員	19
傷病程度別搬送人員	20
収容所要時間別搬送人員	21
曜日別救急出場件数及び搬送人員	22

救助

救助概況	23
------------	----

稲沢市管内概要

面積・人口・世帯数

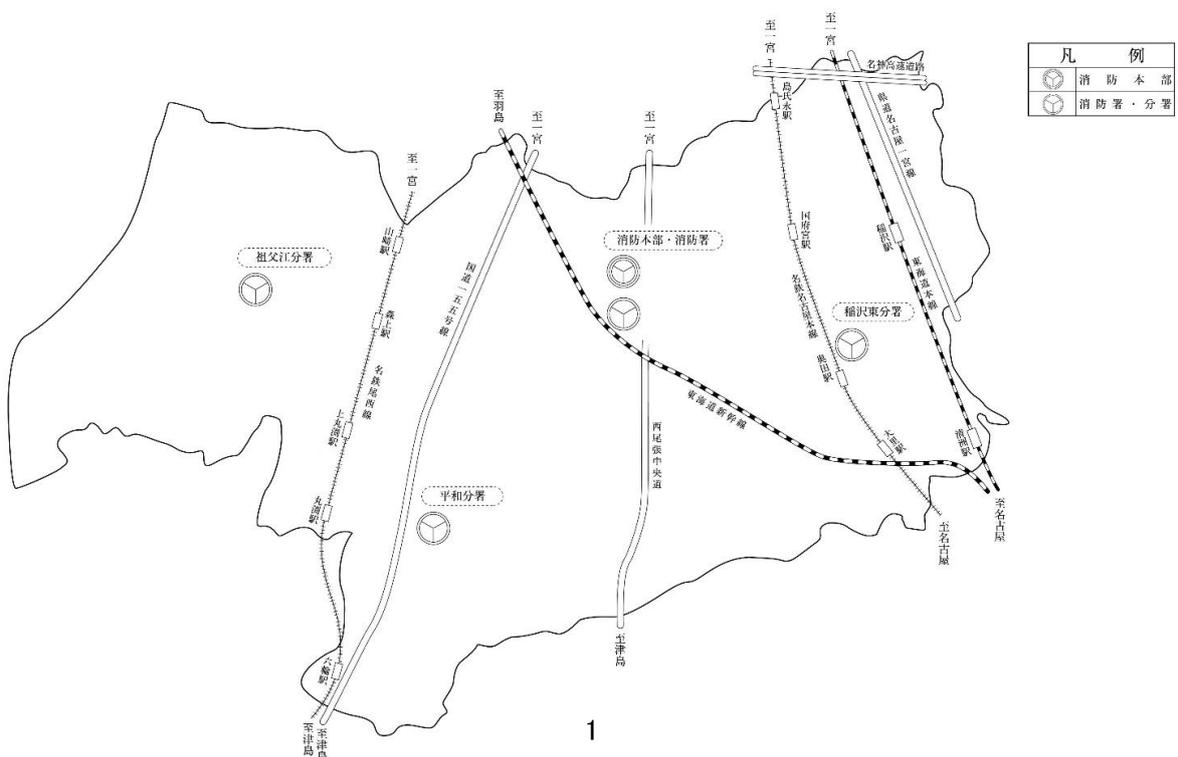
令和7年1月1日現在

区 分	面積(k m ²)	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲 沢 市	79.35	65,827	67,052	132,879	57,185

消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名 称	所 在 地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

消防本部・消防署配置図



119番受信概況

119番受信状況は、第1表のとおり9,868件で、前年と比較して64件減少している。1日当たりの平均受信件数は27.0件で、前年より0.2件減少している。

119番受信区分では、固定電話からの119番が4,430件で44.9%、携帯電話からの119番が5,438件で55.1%となっている。

第1表 119番受信状況

年別	区分	火災	救急	救助	その他	合計
令和4年	固定電話	35	3,326	14	1,075	4,450
	携帯電話	94	3,142	49	1,304	4,589
	合計	129	6,468	63	2,379	9,039
令和5年	固定電話	32	3,264	10	1,124	4,430
	携帯電話	80	3,657	55	1,710	5,502
	合計	112	6,921	65	2,834	9,932
令和6年	固定電話	28	3,286	18	1,098	4,430
	携帯電話	100	3,832	56	1,450	5,438
	合計	128	7,118	74	2,548	9,868

(注)「その他」は、警戒、訓練通報、間違い、病院問い合わせ等

緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり9,479件で、前年と比較して264件増加している。

1日当りの平均出動件数は約26件となっている。

また、救急及び救急支援出動は、9,047件の緊急出動をし、全体の95%を占めている。

緊急出動を署別に見ると、稲沢東分署が約43%、次いで、本署が約27%を占めている。

第1表 緊急出動状況 (件)

署別		種別	火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率(%)
本署	令和5年		39	1,803	104	37	464	2,447	26.6%
	令和6年		44	1,839	89	40	535	2,547	26.9%
稲沢東分署	令和5年		24	3,208	50	38	675	3,995	43.4%
	令和6年		30	3,326	36	54	658	4,104	43.3%
祖父江分署	令和5年		15	1,011	18	11	238	1,293	14.0%
	令和6年		15	1,051	13	19	231	1,329	14.0%
平和分署	令和5年		22	1,153	17	30	258	1,480	16.1%
	令和6年		27	1,152	18	47	255	1,499	15.8%
合計	令和5年		100	7,175	189	116	1,635	9,215	100
	比率(%)		1.1%	77.9%	2.1%	1.3%	17.7%		
	令和6年		116	7,368	156	160	1,679	9,479	100
	比率(%)		1.2%	77.7%	1.6%	1.7%	17.7%		

- (注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、偵察、火災警戒、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。
- 2 「救急支援出動」とは、119番通報時の救急要請において心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、ヘリコプター救急のとき、その他、救急支援隊の出動が必要と判断されたときに、消防隊を出動させるものをいう。

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおりである。

火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で約140件、警戒出動は月平均で約13件出動している。

第2表 月別緊急出動状況 (件)

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	2	2	7	3	6	4	3	6	2	1	3	5	44	116
	稲沢東分署	1	1	6	3	2	2	2	4	1	3	1	4	30	
	祖父江分署	1	0	3	0	2	0	2	3	0	0	3	1	15	
	平和分署	1	2	6	1	5	0	3	4	0	1	1	3	27	
	小計	5	5	22	7	15	6	10	17	3	5	8	13	116	
救急	本署	189	143	146	127	151	143	177	159	139	138	144	183	1,839	7,368
	稲沢東分署	297	260	272	251	245	255	323	337	240	237	278	331	3,326	
	祖父江分署	102	79	82	82	75	65	96	100	93	83	77	117	1,051	
	平和分署	114	90	89	89	85	90	111	95	89	93	76	131	1,152	
	小計	702	572	589	549	556	553	707	691	561	551	575	762	7,368	
救助	本署	9	7	6	6	5	5	10	6	9	6	8	12	89	156
	稲沢東分署	2	2	4	1	3	3	3	3	6	3	1	5	36	
	祖父江分署	1	2	2	0	1	1	0	0	2	0	3	1	13	
	平和分署	4	1	2	2	0	2	4	0	0	0	1	2	18	
	小計	16	12	14	9	9	11	17	9	17	9	13	20	156	
警戒	本署	3	4	4	2	0	7	3	4	3	4	2	4	40	160
	稲沢東分署	5	6	4	1	3	5	1	9	2	4	10	4	54	
	祖父江分署	1	1	2	1	1	2	0	1	1	3	2	4	19	
	平和分署	1	2	5	5	3	2	6	2	3	9	6	3	47	
	小計	10	13	15	9	7	16	10	16	9	20	20	15	160	
救急支援	本署	57	44	42	42	42	39	51	41	43	44	43	47	535	1,679
	稲沢東分署	65	41	61	58	47	56	59	55	46	38	54	78	658	
	祖父江分署	25	11	14	23	20	18	21	23	20	13	18	25	231	
	平和分署	29	20	19	22	20	29	24	19	18	12	16	27	255	
	小計	176	116	136	145	129	142	155	138	127	107	131	177	1,679	
合計		909	718	776	719	716	728	899	871	717	692	747	987	9,479	

(注) 平均件数は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、「約」を使用しています。

訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計820件、前年と比較して34件減少している。
 訓練指導については、自主防災会、事業所及び教育機関の合計295団体に対して訓練指導を実施した。

調査状況については、地理水利調査を311件実施した。

第1表 訓練指導及び調査状況 (件)

種別 署別		消防団訓練指導	自主防災会訓練指導	事業所訓練指導	教育機関訓練指導	普通救命講習会	消防署見学	地理水利調査	合計	比率
本署	令和5年	54	24	83	42	40	12	112	367	43%
	令和6年	36	25	68	33	58	25	80		
稲沢東分署	令和5年	23	22	34	21	14	3	99	216	25%
	令和6年	24	35	31	23	18	4	70		
祖父江分署	令和5年	11	5	9	10	4	1	69	109	13%
	令和6年	15	1	15	14	14	1	81		
平和分署	令和5年	10	10	21	8	4	2	107	162	19%
	令和6年	11	11	29	10	7	1	80		
合計	令和5年	98	61	147	81	62	18	387	854	100%
	比率	11.5%	7.1%	17.2%	9.5%	7.3%	2.1%	45.3%		
	令和6年	86	72	143	80	97	31	311	820	100%
	比率	10.5%	8.8%	17.4%	9.8%	11.8%	3.8%	37.9%		

(注) 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおりである。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

(件)

種別・署別	月別												小計	合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消防団訓練指導	本署				4	18	5	9						36	86
	稲沢東分署				8	11	5							24	
	祖父江分署				5	8	2							15	
	平和分署				5	6								11	
	小計				22	43	12	9						86	
自主防災会訓練指導	本署	1	2	4	1	1	1			2	6	6	1	25	72
	稲沢東分署	4		2	1	1	1	3	2	4	9	6	2	35	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署		1			1	1			3	1	2	2	11	
	小計	5	3	6	2	3	3	3	2	9	16	15	5	72	
事業所訓練指導	本署		4	1	3	6	12	5	3	2	11	16	5	68	143
	稲沢東分署	2	4	1	4	3	3	2	1	3	1	5	2	31	
	祖父江分署		1	1		3	3	1		2	1	2	1	15	
	平和分署	2	1	2	3	4	2	1		3	5	6		29	
	小計	4	10	5	10	16	20	9	4	10	18	29	8	143	
教育機関訓練指導	本署			2	3	5	3	1	3	3	6	7		33	80
	稲沢東分署		1		1	5	6	1		1	2	6		23	
	祖父江分署					2	5				5	2		14	
	平和分署				1		2	1		1	1	4		10	
	小計		1		5	12	16	3	3	5	14	19		80	
普通救命講習会	本署	3	4	3	7	4	11	3	7	6	3	4	3	58	97
	稲沢東分署	2				2		1	2	1	8	1	1	18	
	祖父江分署		2	2	1	1		2	2	1		2	1	14	
	平和分署				1	1	1			2		1	1	7	
	小計	5	6	5	9	8	12	6	11	10	11	8	6	97	
消防署見学	本署	2	1	1	2		1		5		6	4	3	25	31
	稲沢東分署				1						1	2		4	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署											1		1	
	小計	2	1	1	3		1		5		7	7	4	31	
地理水利調査	本署	4	10	13	7	4	5	11	10	6	1	7	2	80	311
	稲沢東分署	3	6	2	4	13	8	3	2	9	4	12	4	70	
	祖父江分署		8	5	8	5	9	9	10	4	5	11	7	81	
	平和分署	3	9	5	2	10	14	11			6	12	8	80	
	小計	10	33	25	21	32	36	34	22	19	16	42	21	311	
合計	26	54	42	72	114	100	64	47	53	82	120	44	820		

予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は、第1表のとおりである。

1日当たりの届出状況は平均13件であり、届出状況をみると消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が最も多く、1,784件（35.4%）で、次いで道路工事届出書が1,289件（25.6%）となっている。

なお、届出の一部は電子申請、電子メール及び郵送による受付を実施している。

第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	133	2.6
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 設 置 届 出 書	185	3.7
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 点 検 結 果 報 告 書	1,784	35.4
防 火 管 理 者 選 任（ 解 任 ） 届 出 書	226	4.5
消 防 計 画 作 成（ 変 更 ） 届 出 書	239	4.7
道 路 工 事 届 出 書	1,289	25.6
消 防 職 員 の 派 遣 ・ 指 導 ・ 消 防 訓 練 実 施 届 出 書	792	15.7
変 電 ・ 蓄 電 ・ 発 電 ・ 急 速 充 電 設 備 設 置 届 出 書	33	0.7
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	27	0.5
催 物 開 催 届 出 書	4	0.1
露 店 等 の 開 設 届 出 書	89	1.8
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	100	2.0
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	90	1.8
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	49	1.0
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	5	0.1
合 計	5,045	100

区分別消防同意状況は、第2表のとおりである。

第2表 区分別消防同意状況

(件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新 築	8	4	8	8	8	6	9	12	8	7	7	5	90	74.4
増 築	4	2	3	4	5	1			6	2	1	2	30	24.8
改 築													0	0
用 途 変 更												1	1	0.8
そ の 他													0	0
合 計	12	6	11	12	13	7	9	12	14	9	8	8	121	100

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

第3表 消防用設備等の検査状況

(件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	1	5	3	5	3	3	1		1	4		2	28	19.4
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備														0.0
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	1			1	2								4	2.8
	屋 外 消 火 栓 設 備	1		1							2		1	5	3.5
	泡 消 火 設 備													0	0
	粉 末 消 火 設 備													0	0
	ガ ス 消 火 設 備													0	0
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備													0	0
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	1	5	7	9	8	5	1	3	7	6	5	4	61	42.3
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備				1	3				1		1		6	4.2
	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備	2	1					1						4	2.8
	非 常 放 送 設 備	1	1		1	3				1	2	1		10	6.9
	漏 電 火 災 警 報 器													0	0
避 難 設 備	避 難 器 具													0	0
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	1	4	4	2	2	1	1		2	4		3	24	16.7
そ の 他	消 防 用 水										1			1	0.7
	連 結 送 水 管										1			1	0.7
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備													0	0
	排 煙 設 備													0	0
合 計	8	16	15	19	21	9	4	3	12	20	7	10	144	100	

危険物製造所等は288施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は、第4表のとおりである。

第4表 危険物製造所等の許可・届出状況 (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
許 可	設 置			1									1	2
	変 更	1	7							1	9		24	42
仮 使 用 承 認		1	7							1	9		24	42
完成検査	設 置		1	1									1	3
	変 更	1	3							1	8		24	37
予 防 規 程 認 可											5			5
軽 微 な 工 事 届						1		1			13		43	58
品名・数量・倍数変更届			1										3	4
保安監督者選任・解任届			12	8		3					5		13	41
廃 止 届				1										1
合 計		3	31	11	0	4	0	1	3	49	0	0	133	235

火 災 概 況

火災の状況を前年と比較すると第1表のとおり、出火件数は54件で9件増加し、損害額も増加している。

火災種別ごとで見ると、建物火災が27件で、全体の50%と最も高い割合となっている。

第1表 令和6年中の火災状況と前年との比較

区 分	単位	令和6年(A)	令和5年(B)	増減(C) (A-B)
出火件数	件	54	45	9
建物火災		27	18	9
車両火災		1	2	△1
その他の火災		26	25	1
焼損棟数	棟	30	29	1
全焼		9	13	△4
半焼		2	3	△1
部分焼		4	7	△3
ぼや		15	6	9
建物焼損床面積	m ²	1,241	988	253
死者	人	2	8	△6
負傷者		14	3	11
り災世帯	世帯	19	9	10
り災人員	人	41	18	23
損害額	千円	94,149	82,237	11,912
建物火災		92,709	86,857	5,852
車両火災		45	170	△125
その他の火災		1,395	210	1,185
出火率	%	4.1	3.4	0.6

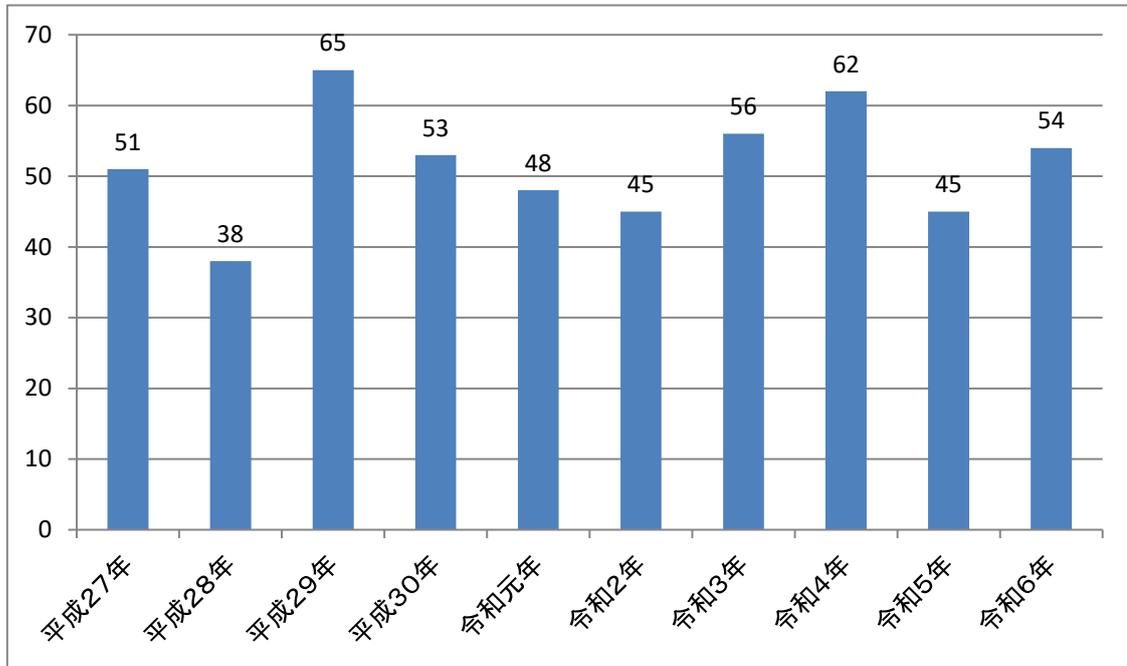
- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。
2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。

年別出火件数

過去10年間の出火件数の推移をみると第1図のとおり、平成29年の出火件数が65件と最も多くなっており、最も少ない年は平成28年で38件である。

令和6年の1日当たりの出火件数は0.15件であり、6.8日に1件の割合で火災が発生したことになる。

第1図 年別出火件数

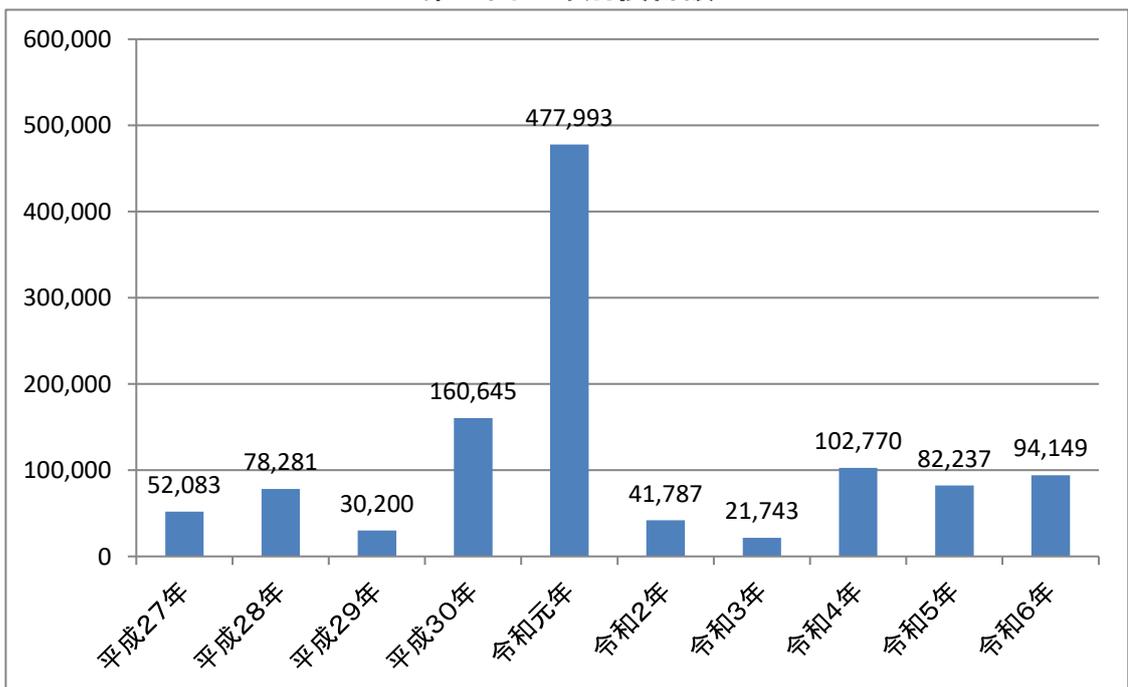


年別損害額

過去10年間の損害額の推移をみると第2図のとおり、令和元年の損害額が477,993千円と最も多く、令和3年は21,743千円と最も少なくなっている。

第2図 年別損害額

(千円)



署別出火件数

出火件数の54件を署別にみると第2表のとおり、祖父江分署が15件と最も多く、本署、稲沢東分署、平和分署が13件である。

署別出火件数を前年と比較すると、本署は合計で4件増加しており、祖父江分署は、5件増加、平和分署は、1件増加している。稲沢東分署は、1件減少している。

第2表 署別出火件数前年比較

	令和6年(A) 出火件数	令和5年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	13	9	4	44.4
稲沢東分署	13	14	△1	△7.1
祖父江分署	15	10	5	50.0
平和分署	13	12	1	8.3
合計	54	45	9	20.0

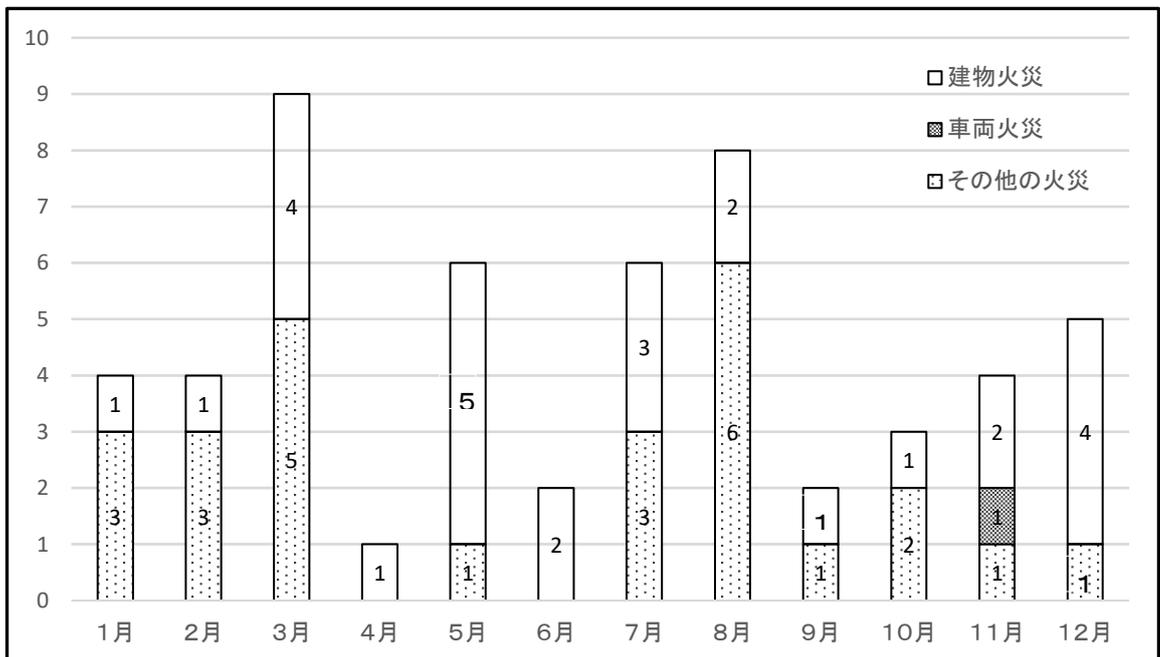
月別出火件数

出火件数の54件を月別にみると第3図のとおり、3月が9件と最も多く発生した。

火災種別ごとにみると建物火災は5月が5件、車両火災は11月が1件、その他の火災は8月が6件と最も多く発生している。

第3図 月別出火件数

(件)

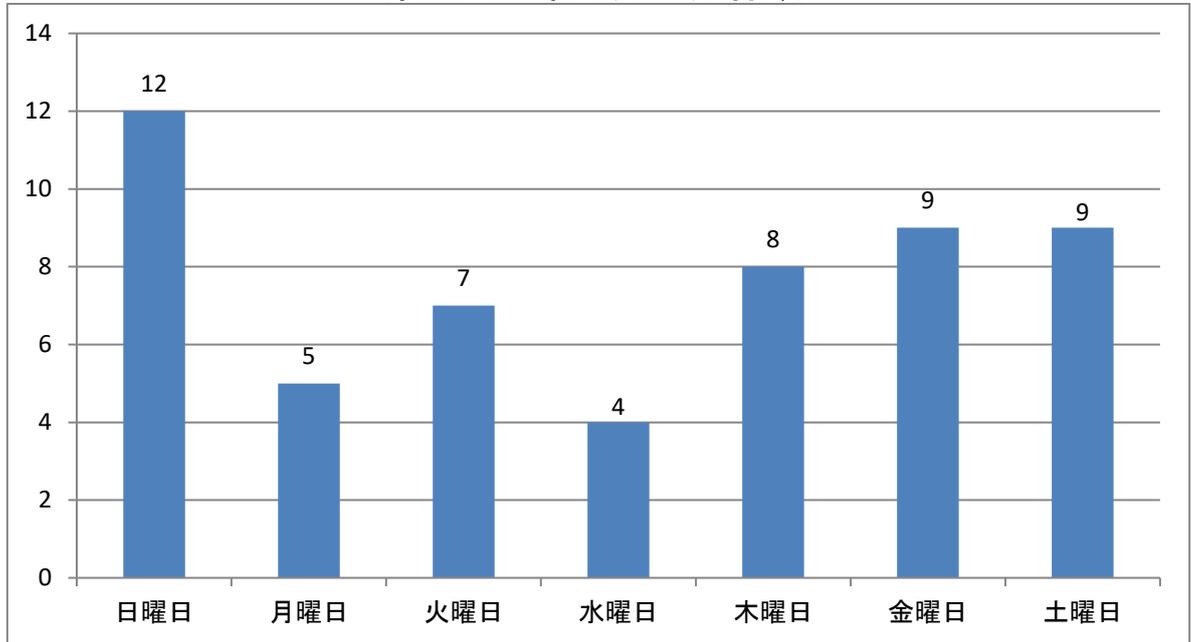


曜日別出火件数

出火件数の54件を曜日別にみると第4図のとおり、日曜日が12件と最も多く発生した。

第4図 曜日別出火件数

(件)

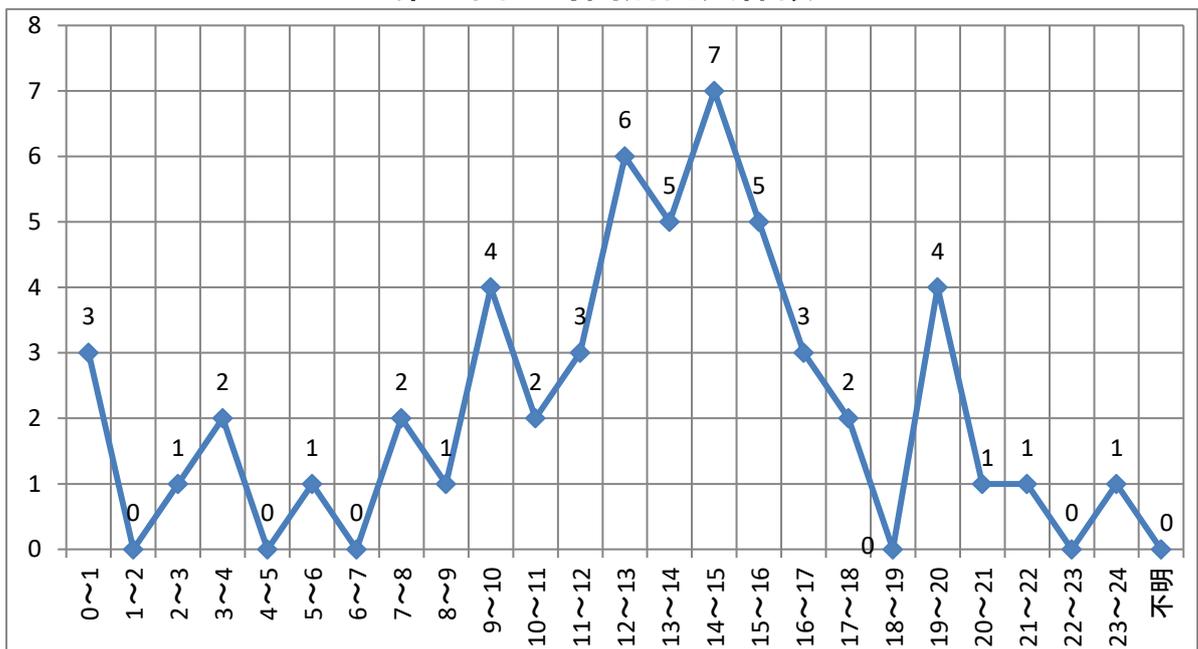


時間別出火件数

出火件数の54件を時間別にみると第5図のとおり、14時から15時までが最も多く7件発生しており、深夜から早朝にかけての時間帯は出火件数は少ない。

第5図 時間別出火件数

(件)



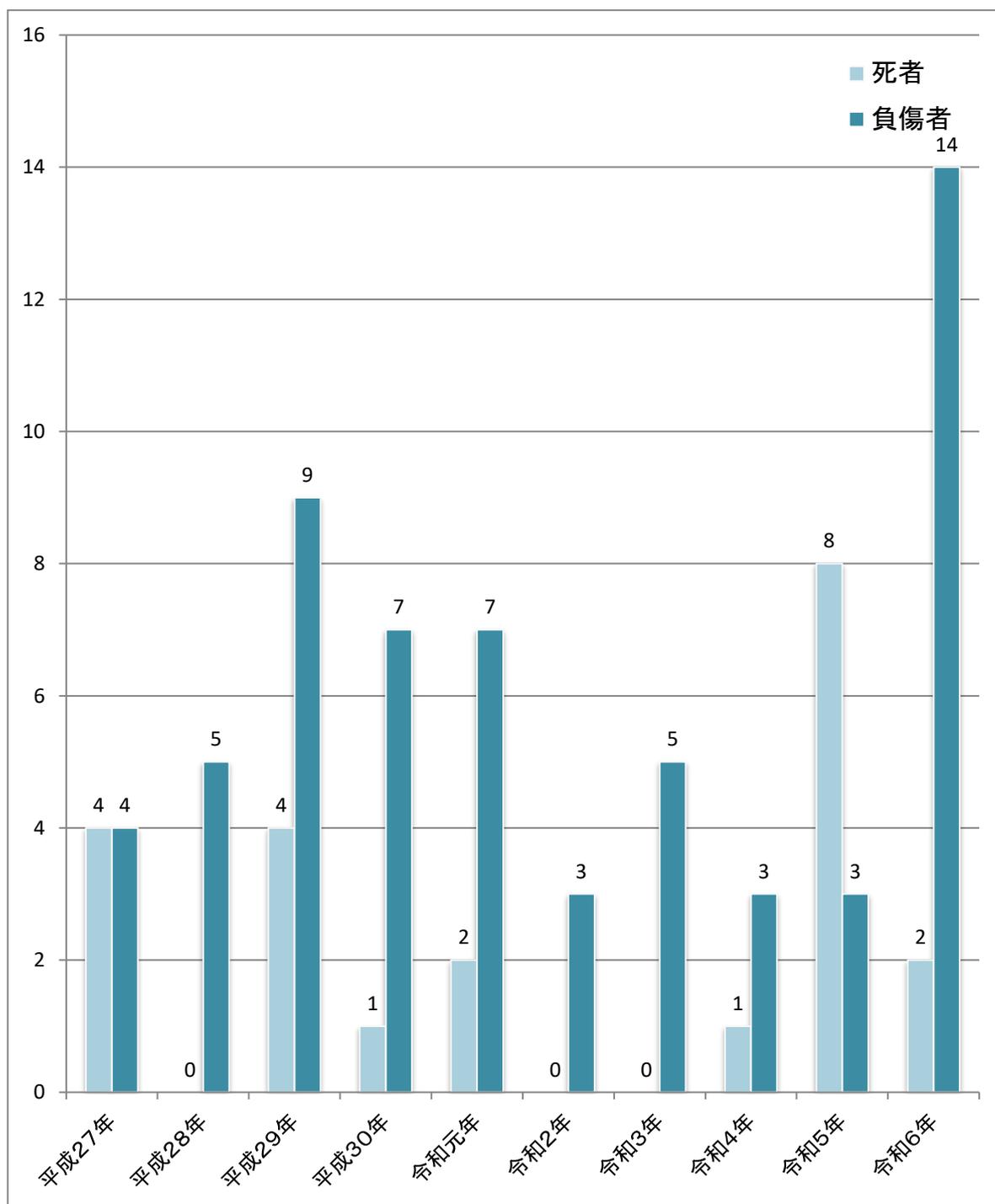
火災による死傷者数

令和6年の火災による死傷者発生状況については、死者2人、負傷者14人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は令和5年が8人と最も多くなっている。

負傷者数は、令和6年が14人と最も多く、次いで平成29年の9人の順となっている。

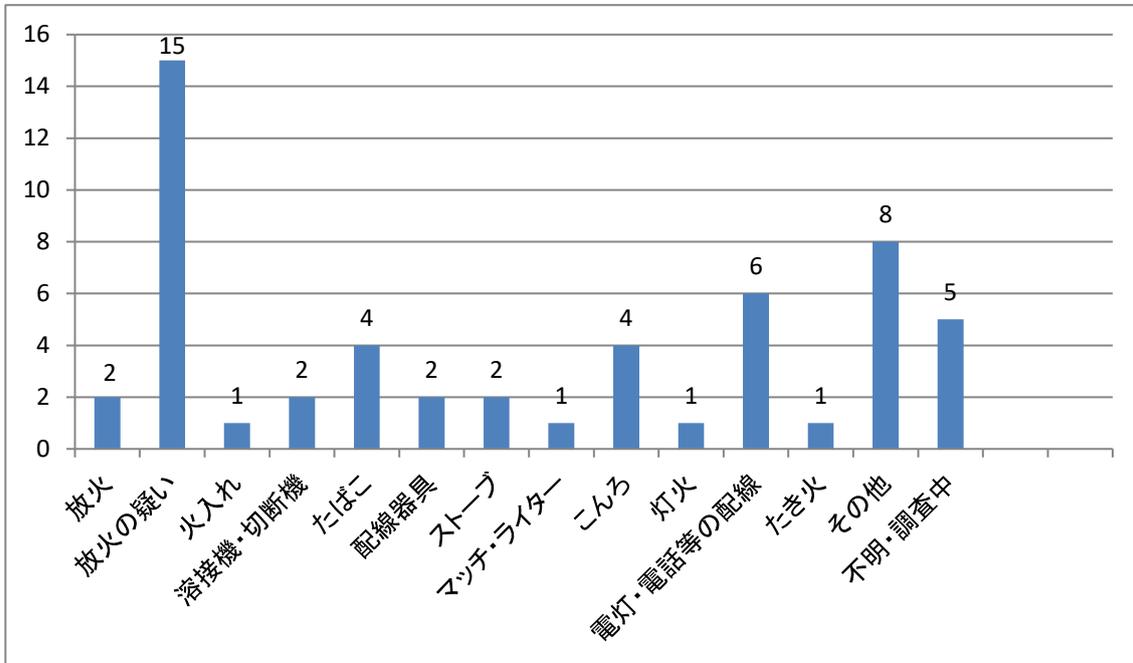
第6図 年別死傷者数 (人)



出火原因別出火件数

出火件数の54件を出火原因別にみると第7図のとおり、放火・放火の疑いによる火災を合わせると17件と多く発生し、全体の約31%を占めている。

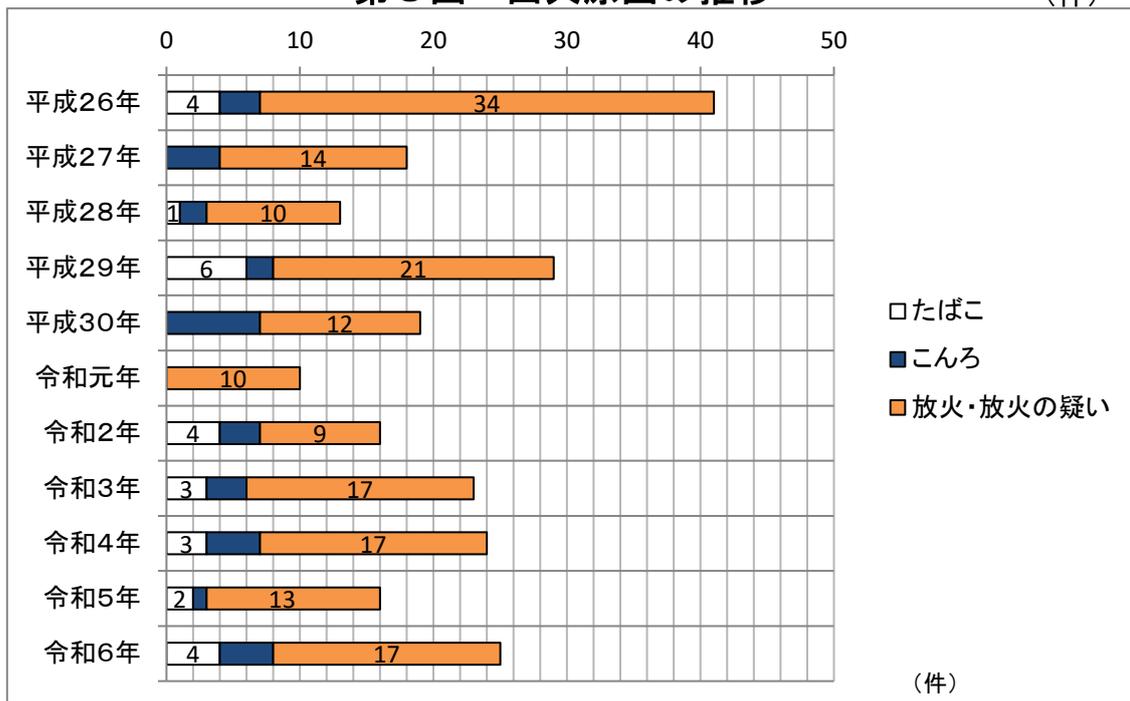
第7図 出火原因別出火件数 (件)



出火原因の推移

過去10年間の主な出火原因の推移をみると第8図のとおり、毎年、放火・放火の疑いによるものが出火原因の上位を占め、平成26年が34件と最も多く発生している。

第8図 出火原因の推移 (件)



救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は、7,368件で前年と比較して193件増加している。1日当りの平均出場件数は、20件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は7,061人で前年と比較して172人増加している。

なお、当消防本部管内の住民19人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

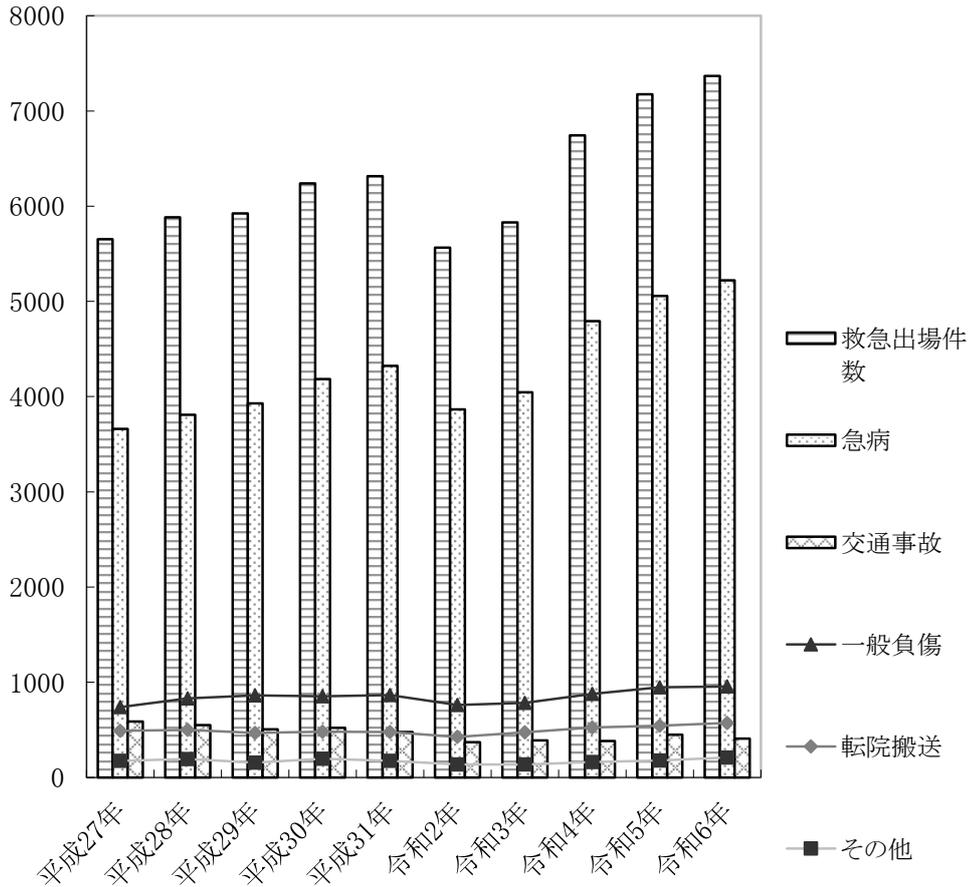
第1表 救急業務実施状況

事故種別 署別		火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	その	合	
		災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	他	計	
本署	令和5年	件数	10	0	0	137	14	7	241	0	9	1,302	83	1,803
		人員	3	0	0	136	14	7	235	0	6	1,240	81	1,722
	令和6年	件数	13	1	1	120	13	11	243	3	7	1,333	94	1,839
		人員	8	1	0	118	13	11	232	3	5	1,275	87	1,753
稲沢東分署	令和5年	件数	13	1	2	180	17	11	435	8	17	2,265	259	3,208
		人員	3	1	1	179	17	11	427	6	12	2,153	258	3,068
	令和6年	件数	12	0	0	161	32	13	435	10	20	2,327	316	3,326
		人員	3	0	0	161	32	13	432	10	14	2,209	315	3,189
祖父江分署	令和5年	件数	3	0	3	59	5	10	117	1	5	688	120	1,011
		人員	1	0	0	63	4	10	118	1	5	671	119	992
	令和6年	件数	2	0	2	49	12	6	145	1	7	725	102	1,051
		人員	2	0	1	54	12	6	142	1	4	695	100	1,017
平和分署	令和5年	件数	3	0	3	73	24	6	154	1	3	801	85	1,153
		人員	0	0	1	73	24	6	145	0	1	772	85	1,107
	令和6年	件数	2	0	1	77	19	3	133	4	5	837	71	1,152
		人員	0	0	0	77	19	3	131	2	4	796	70	1,102
合計	令和5年	件数	29	1	8	449	60	34	947	10	34	5,056	547	7,175
		人員	7	1	2	451	59	34	925	7	24	4,836	543	6,889
	令和6年	件数	29	1	4	407	76	33	956	18	39	5,222	583	7,368
		人員	13	1	1	410	76	33	937	16	27	4,975	572	7,061

種別ごとの救急出場件数

救急出場件数7,368件を種別ごとに見ると、第1図及び第2表のとおりであり、第1図を見ると、急病は過去最高件数となり、他の種別についても交通事故以外は増加傾向である。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

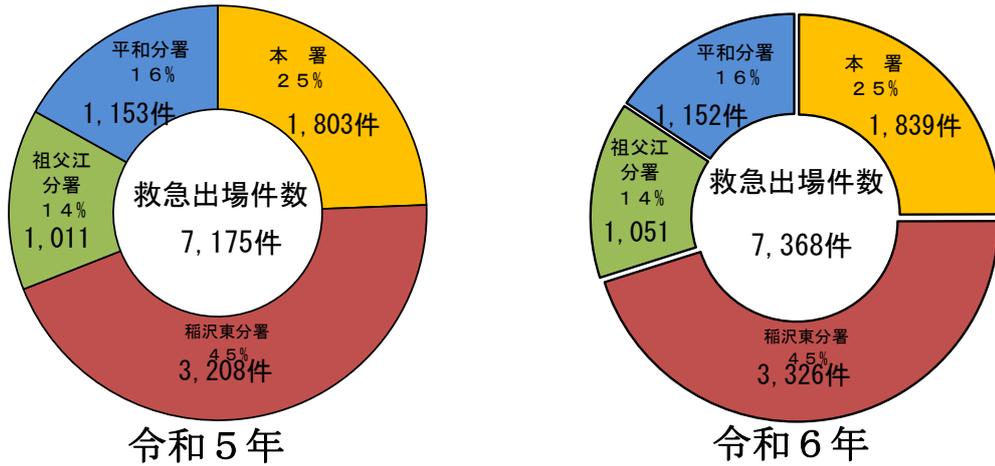
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
救急出場件数	5,653	5,884	5,923	6,238	6,316	5,565	5,830	6,742	7,175	7,368
急病	3,661	3,810	3,928	4,184	4,323	3,867	4,045	4,793	5,056	5,222
交通事故	587	551	507	522	478	371	391	383	449	407
一般負傷	739	830	862	854	864	762	784	878	947	956
転院搬送	490	499	470	482	477	426	474	524	545	573
その他	176	194	156	196	174	139	136	164	178	210

署別救急出場件数

救急出場件数7,368件を署別に見ると第2図のとおり稲沢東分署が3,326件と最も多く、次いで本署、平和分署、祖父江分署の順となっている。

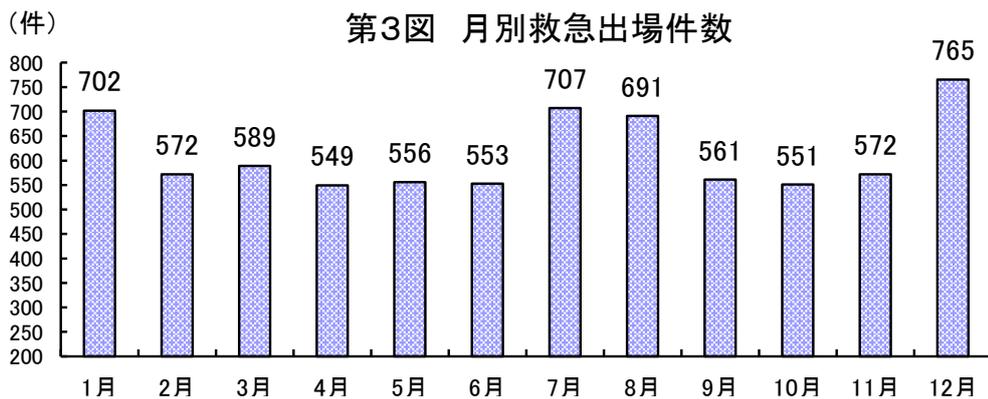
前年と比較すると、本署は36件、稲沢東分署は118件、祖父江分署は40件の増加、平和分署は1件減少し、合計193件の増加となった。

第2図 署別救急出場件数



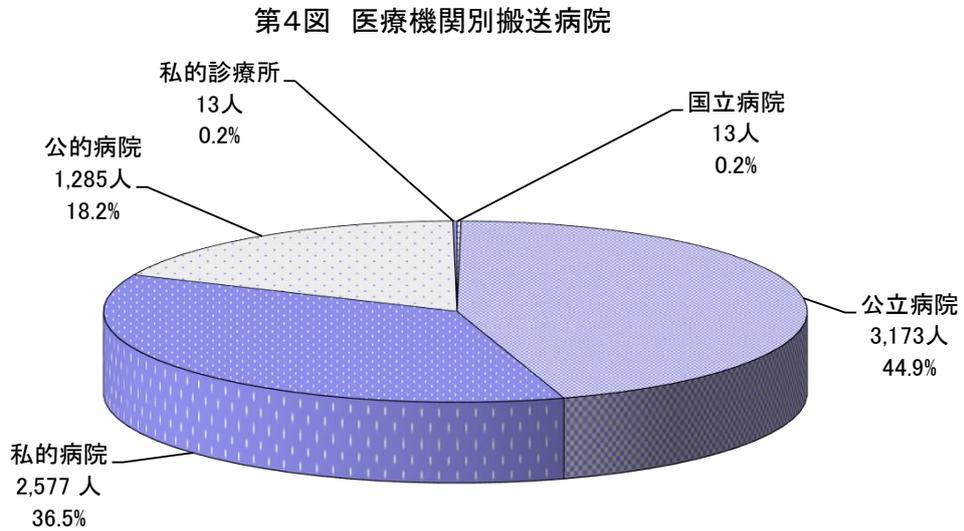
月別救急出場件数

救急出場件数7,368件を月別に見ると、第3図のとおり、12月が765件と最も多く、次いで7月、1月の順となっている。最も少なかったのが4月の549件で、月平均にすると614件となる。



医療機関別搬送人員

搬送された7,061人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が3,173人と最も多く、次いで私的病院、公的病院の順となっている。

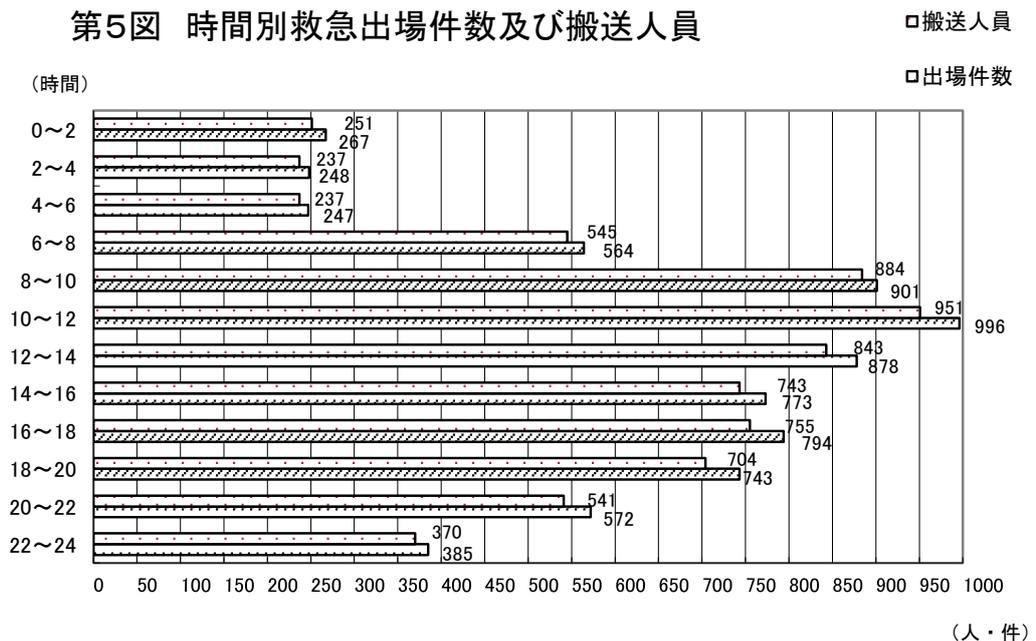


時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数7,368件及び搬送人員7,061人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は10時から12時の時間帯が996件と最も多く、次いで8時から10時、12時から14時になっており、最も少ない時間帯は4時から6時の247件となっている。

第5図 時間別救急出場件数及び搬送人員

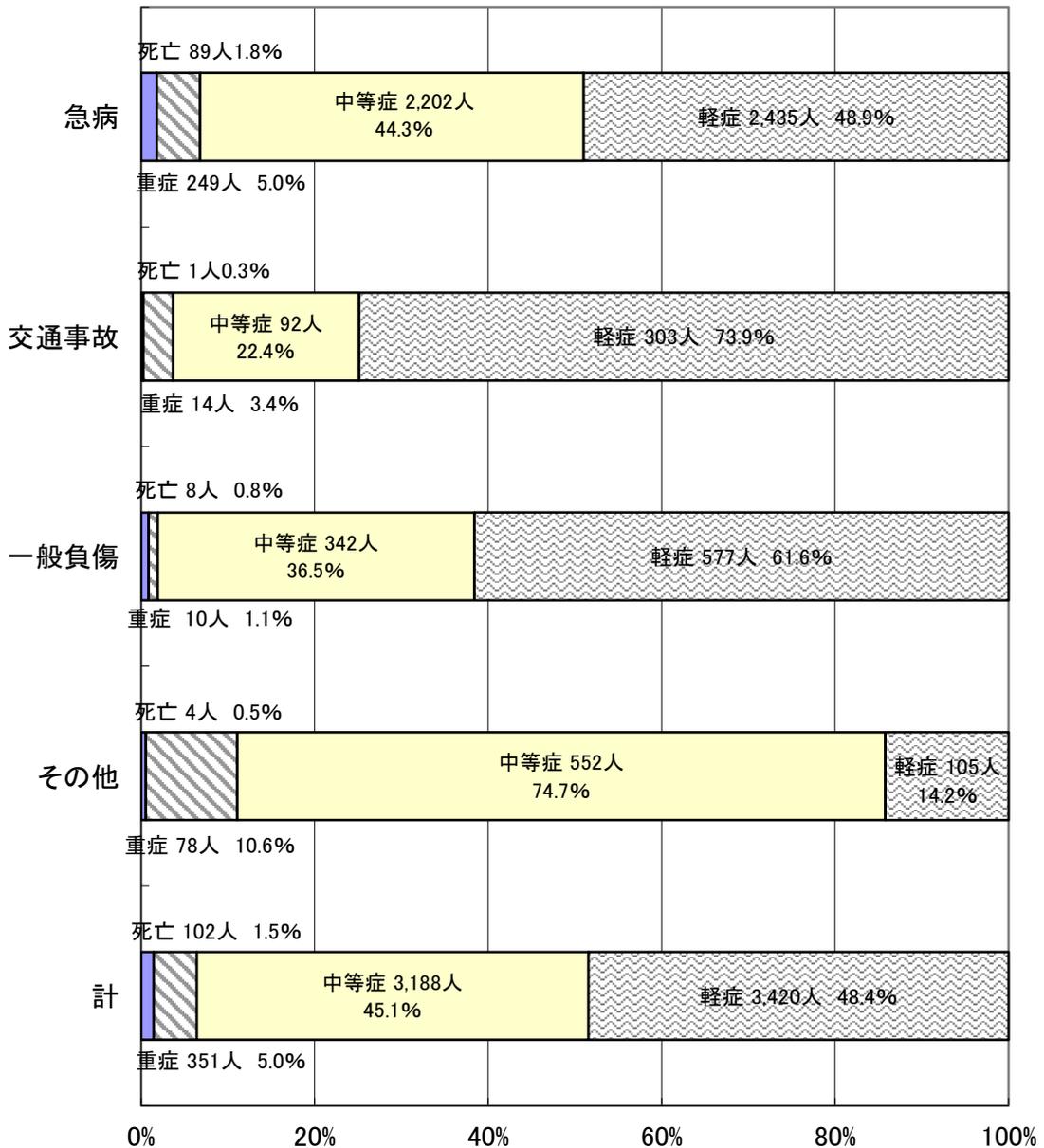


傷病程度別搬送人員

搬送人員 7,061 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、軽症が 3,420 人と最も多く、次いで、中等症、重症、死亡の順となっている。

傷病程度の軽症割合は、交通事故が 410 人のうち 303 人（73.9%）が軽症で最も多く、次いで一般負傷、急病、その他の順となっている。

第6図 傷病程度別搬送人員の状況

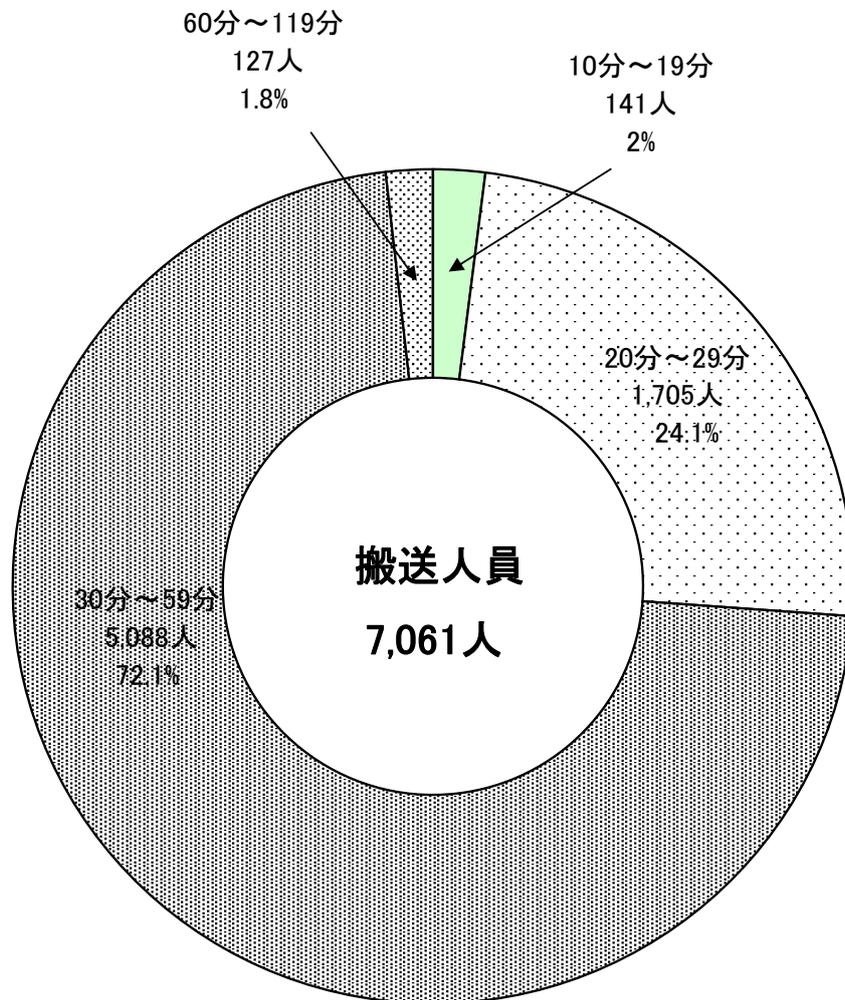


収容所要時間別搬送人員

搬送人員 7,061 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第7図のとおりである。

搬送人員の2%が20分未満で病院に収容され、30分未満になると26.1%が収容されている。しかし、30分以上は73.9%であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第7図 収容所要時間別搬送人員の状況



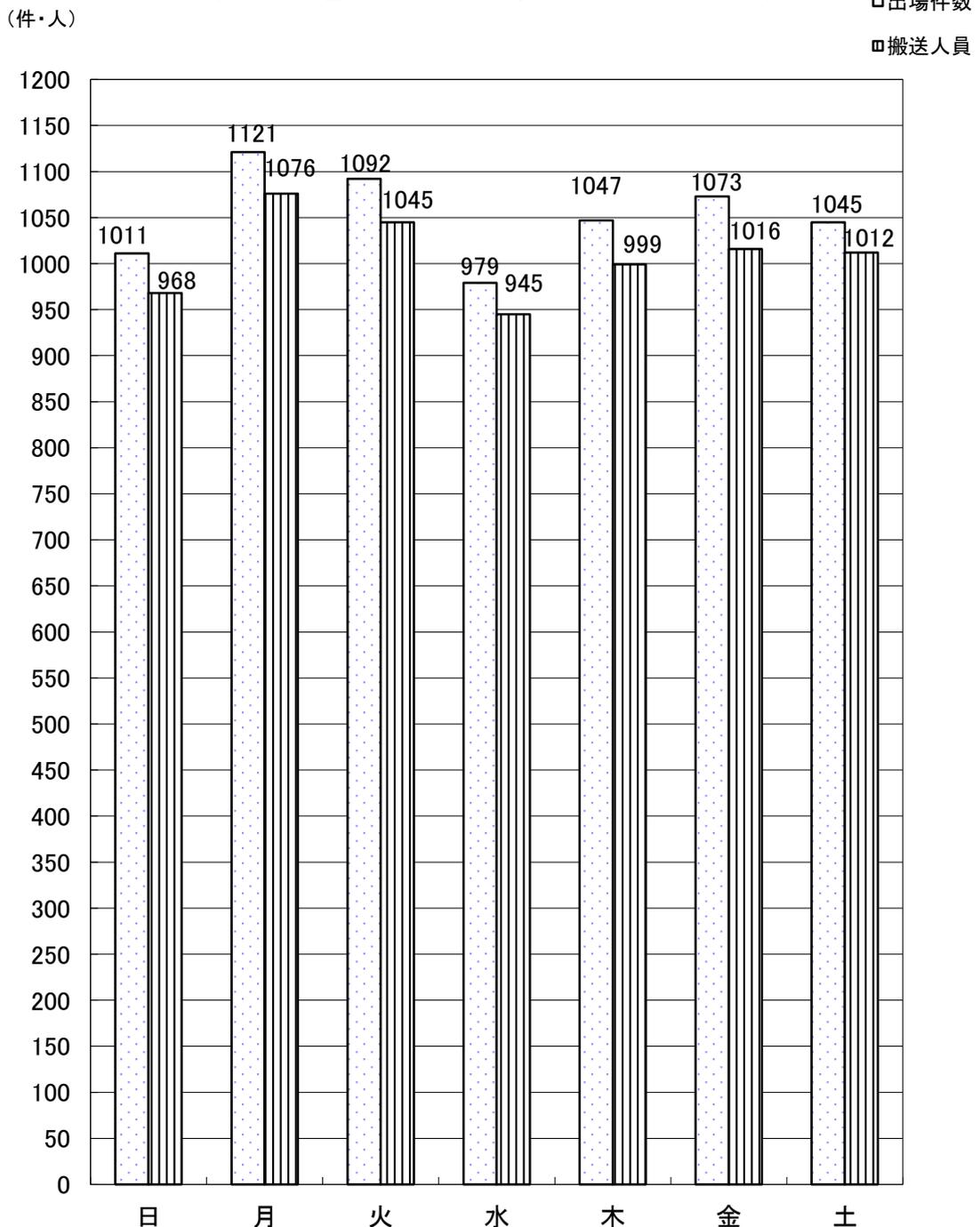
曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数7,368件及び搬送人員7,061人を曜日別に見ると、第8図のとおりである。

出場件数は、月曜日が1,121件と最も多く、次いで火曜日、金曜日の順となっており、最も少ないのは水曜日の979件となっている。

搬送人員は、月曜日が1,076人と最も多く、次いで火曜日、金曜日の順となっており、最も少ないのは水曜日の945人となっている。

第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員



救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は91件で、前年の104件と比較すると13件減少している。

出動件数を事故種別で見ると、建物等による事故が37件（40.6%）で最も多く、次いでその他の事故が26件（28.6%）となっている。

救助活動件数は56件であり、この活動により60人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、建物等による事故が28人で全体の46.7%を占めている。

第1表 救助出動及び活動状況

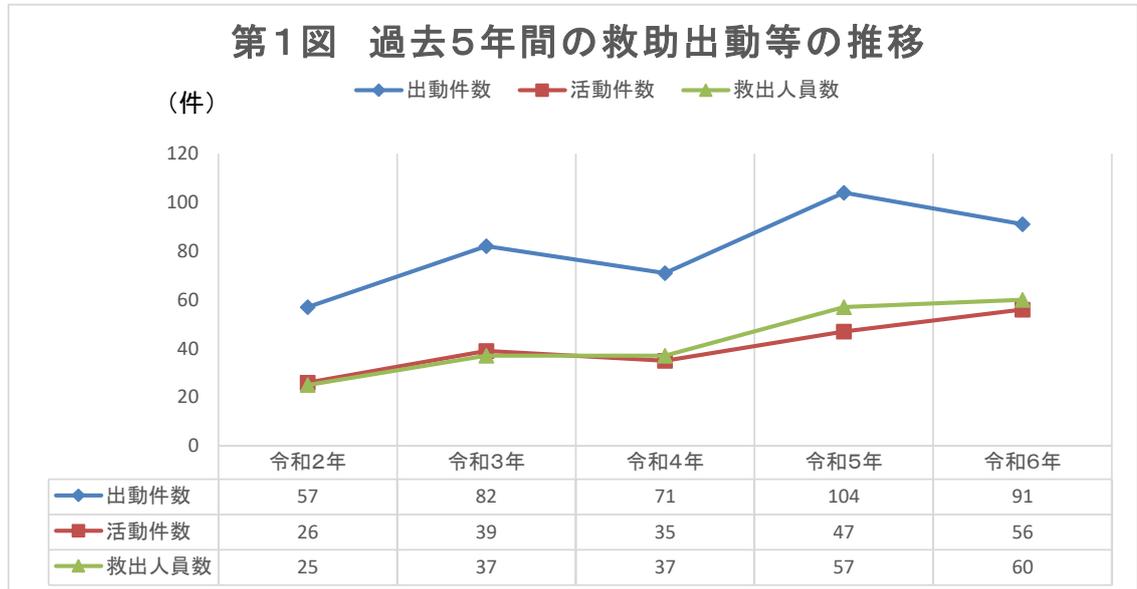
(件)

所轄別		事故種別	火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	合計
本署	出動件数	令和5年		12	2		6	1		15	36
		令和6年		9	1		20	1		10	41
	活動件数	令和5年		9	1		4	1		1	16
		令和6年		7	1		17			5	30
	救出人員	令和5年		11	1		4	1		1	18
		令和6年		9	1		16			5	31
稲沢東分署	出動件数	令和5年	2	14	3		14			13	46
		令和6年		5			13			7	25
	活動件数	令和5年	2	6	2		10				20
		令和6年		2			10			1	13
	救出人員	令和5年	3	8	2		11				24
		令和6年		2			9			1	12
祖父江分署	出動件数	令和5年		3	3		2			3	11
		令和6年	2	3	1		2			3	11
	活動件数	令和5年		2	1		1				4
		令和6年	2	3	1		1			1	8
	救出人員	令和5年		3	1		1				5
		令和6年	2	4	2		1			1	10
平和分署	出動件数	令和5年	1	3	3		2			2	11
		令和6年		5		1	2			6	14
	活動件数	令和5年	1	3	1		2				7
		令和6年		2			2			1	5
	救出人員	令和5年	3	4	1		2				10
		令和6年		4			2			1	7
合計	出動件数	令和5年	3	32	11		24	1		33	104
		比率	2.9%	30.7%	10.6%		23.1%	1.0%		31.7%	100%
		令和6年	2	22	2	1	37	1		26	91
		比率	2.2%	24.2%	2.2%	1.1%	40.6%	1.1%		28.6%	100%
	活動件数	令和5年	3	20	5		17	1		1	47
		令和6年	2	14	2		30			8	56
	救出人員	令和5年	6	26	5		18	1		1	57
		令和6年	2	19	3		28			8	60

過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり令和5年の104件が最も多く、次いで令和6年の91件となっている。

救助活動件数を見ると、令和6年の56件が最も多く、次いで令和5年の47件となっている。

救出人員数を見ると、令和6年の60人が最も多く、次いで令和5年の57人となっている。



救助出動した91件を署別で見ると、第2図のとおり本署が41件（45.1%）と最も多くなっている。

